

熊本県立大学  
**国 文 研 究**

第五十一号  
平成十八年三月

目 次

- |  |            |       |
|--|------------|-------|
| ○「幻談」考                                   | 登 尾 豊 ……   | 1     |
| ○「て」の接続機能                                | 半 藤 英 明 …… | 11    |
| ○花散里巻の中川女宿の垣根より                          | 徳 岡 涼 ……   | 22    |
| ○肥後の連歌師桜井素丹                              | 大 石 隆 三 …… | 38    |
| ○呼称「転位文」は必要か                             | 川 俣 沙 織 …… | 67(8) |
| ○έποχή & bilingualism<br>—待つこと、そして、見守ること | 馬 場 良 二 …… | 74(1) |
| ・受贈雑誌一覧                                  |            | …… 54 |
| ・開講科目及び担当者一覧                             |            | …… 60 |

**熊本県立大学日本語日本文学会**

編  
集  
後  
記

本号では、新しい試みですが、八代古文書の会の会員である大石隆三氏より、桜井素丹についての論をお寄せいただきました。これまで本学とは直接の関わりがなかった方ですが、地域研究の連携という展望のもとに、特に御寄稿をお願いしました。素丹という、八代や宇土にゆかりの深い連歌師についての研究です。また、本学へ非常勤で出講いただいている方に寄稿をお願いするのも初めてですが、源氏物語の演習をお願いしている徳岡涼先生に、これも源氏物語を論じていただきました。

さて、巻頭には本学教授登尾豊の「幻談」考」を据えました。教員同士の雑談の折などに話題に上った主題を、論文として起こしていただいたものです。寄稿を渋る筆者の説得に、大量のお酒が費やされました。

他に本学の教員二名、院生一名からも原稿を寄せていただき、充実した雑誌ができました。文系の学問に冷淡な昨今の状況ですが、地道に成果を積み上げるしかありません。次号に向けて、多くの投稿を期待しております。

「国文研究」第五十一号

印刷 平成十八年三月三十一日

発行 平成十八年三月三十一日

編集・発行

熊本県立大学日本語日本文学会

熊本市月出三丁目一番一〇〇号

印刷 ㈱さかき印刷

☎三八〇一六五四一